

スピードスケート談義



清水宏保選手の勇姿



工学博士 **西尾 宣明**
元・東京ガス(株) 基礎技術研究所

あっぱれ！ そして残念：ソチオリンピック

与太郎 大家さん。いよいよ冬のスポーツが真っ盛りになってきましたね。

それにつけても、去年（2014）のソチオリンピックでは日本の選手も大活躍でしたね。

大家 そうですね。メダルの数が8個。これは1998年の長野オリンピックで獲った10個に次ぐ多さです。

しかし、絶対確実と思われていたフィギュアスケートの浅田選手やジャンプの高梨選手が落ちてしまったのは本当に残念でしたね。

与太郎 でも、男子で初めて金を獲った羽生結弦選手の大活躍には興奮しましたよ。しかもまだ19歳でしょう？

そうかと思うと、スキージャンプの「レジェンド」葛西紀明選手の活躍も格好良かったですよ。

大家 そうですね。ノルディック複合の渡部暁人の活躍も素晴らしかったし、スノーボードでの竹内智香（パラレル大回転）や、まだ10歳台の若い選手たちの活躍（ハーフパイプ）など、日本にとっては目新しい種目も脚光を浴びましたね。

（高梨）沙羅ちゃんの場合は、突然風向きが変わるといふ不運がなければ、と思うと残念ですが、ワールドカップは2013年と2014年の2シーズン続けて総合

優勝で、世界一の実力は誰しも認めると思います。

与太郎 （浅田）真央ちゃんだって実力は世界一ですよ。

大家 本当にそうですね。

凄かった清水選手

与太郎 それにしても、最近、スピードスケートが勝てなくなったのが残念ですね。

大家 そうですね。清水宏保が長野オリンピック（1998年）で金、ソルトレイク（2002年）で銀を獲った後、バンクーバー（2010年）で長島圭一郎と女子バシュートが銀、加藤条治が銅を獲ったけれども、その後を継ぐ若い選手が出て来ないのが淋しいですね。

与太郎 大家さんは前からいろんなスポーツで足が短いのは不利だって言ってますね。スケートもそうなんでしょう？

大家 もちろんです。ノッポの外国人の中であって、身長がたったの162センチ、したがって足もうんと短い清水選手が1995年から2005年あたりまでの約10年もの間、世界一を争い続けたというのは驚異と言ってもいいですね。

与太郎 不格好と言ってもいいぐらいのあの太腿の太さ、あれが足の短さをカバーしたんですね。それにし